

MIRIA 通信

MISHIMA INTERNATIONAL
RELATIONS ASSOCIATION

<https://mishima-life.jp/mira/>

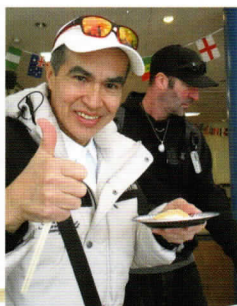
No. **136** 2026年
令和8年3月20日発行
三島市国際交流協会

〒411-8666
静岡県三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館
TEL (055) 976-1020
FAX (055) 976-1021



2026年 午年 MIRA 新春交流会 一年の始まり!みんなで楽しい思い出を作ろう!

MIRA新春交流会が、1月25日、さんしんみゆうくんホールにて開催されました。日本、中国、ベトナム、韓国、インドネシア、アメリカ、ボリビア、オーストラリア、スペイン、ニュージーランド、トルコ等様々な国の人が来場しました。日本のあそび(羽根つき、福笑い、けん玉、おてだま等)や、本格的な杵と臼での餅つきもあり、あんこや大根おろし、納豆などトッピングもいろいろ、豚汁もあり、お餅と共に味わいました。今年は老舗菓子店兎月園さんの上生菓子手作り体験コーナーもあり、日本のお正月文化をおおいに楽しみました。



姉妹都市パサディナ市における山火事被害に対する 救援金の募集結果について

2025年1月7日に発生した山火事により、甚大な被害に見舞われた姉妹都市パサディナ市を支援するため、救援金の募集を行いました。結果は以下の通りです。

☆救援金 365,748円
☆チャリティー・トートバッグ 750,000円
合計 1,115,748円

ご協力ありがとうございました。



7月31日、「フレンドシップ」で来島中のパサディナ市国際協会のブライアン・タケダさん(右)に目録を贈呈しました。

第8回 友好都市親善中国語スピーチコンテスト開催

2025
令和7年
12月7日



麗水市長賞受賞の
高島 好聖さん(左)



三島市・麗水市 友好都市親善
第8回 MIRA 中国語スピーチコンテスト



審査員(左から)葉 忠偉 さん
盧 思 さん
李 璧如 さん

2025(令和7)年12月7日、第8回友好都市親善中国語スピーチコンテストが市民活動センターで開催されました。参加者は暗誦部門高校生14名、スピーチ部門一般6名で日頃の成果を競いました。暗誦部門参加の高校では、多数の生徒が早朝や放課後にも猛練習して臨みました。審査結果を待つ間には、『2025年中国科学技術部による日本の若手科学技術関係者招聘プログラム』参加者帰国報告会が、井口碧さんと石川香帆さんにより行われました。

審査員の先生方からは、高校生には、「途中で止まらず、なるべく正しい発音を心掛け、自然な態度で発表できるように努めながら、もっと欲を出して発表に臨んでほしい」。一般参加者には、「原稿の内容はどれも素晴らしく、外国語で交流できる楽しさが伝わってくる。斬新な切り口の発表では言葉の重みを感じさせられた」との講評をいただきました。また、今回特別審査員として、麗水市から静岡県立静岡がんセンターに研修で派遣されていた葉先生に参加していただきました。

《審査結果》(敬称略)

麗水市長賞

高島 好聖「中国語が心と心の距離を近づけた」

スピーチ部門

- 1位 細野 茂徳「通訳が人生の指針になった時」
審査員特別賞 鈴木 琉奈「言葉の壁」
審査員奨励賞 鈴木 義則「61歳の挑戦」

暗誦部門

課題文:「誉滿杏林」

- 1位 荻島亜悠香(三島南高校3年)
2位 松本 惺大(三島南高校3年)
3位 稲田 玲葉(三島南高校3年)
審査員特別賞 保角 欣耶(三島南高校3年)
審査員奨励賞 藤田 奏太(三島南高校3年)



中国科学技術部による
日本の若手科学技術関係者
招聘プログラム帰国報告会

佐野小・北中で

出前講座・国際理解教育

11月28日 佐野小

2025年11月28日、佐野小学校において、4年生を対象に国際理解教育の出前講座を行いました。今回は、台北出身の李璧如さんと、サンクト・ペテルブルク出身の笠原リリヤさんが講師となって、母国台湾とロシアについてお話をしてくれました。台湾では義務教育が小中高の9年間で、新学期が9月から始まる、宿題がとても多い、小学校はもちろん、中学・高校でもお昼寝タイムがある、など日本との違いを教えてくださいました。ロシアは世界一の面積があり、国内でも最大6時間の時差がある。北極に近い極寒地もあるが、世界最大のバイカル湖など自然も豊かで、広大な森は地球の肺のような役割を担っている。ロシアのカブは日本のものと違って黄色く甘みが強い。など、とても興味深いお話で、子どもたちは目を輝かせて聞き入っていました。



講師の李さん(左)とリリヤさん

6月12日 北中

6月12日には、市立北中学校において、3年生およそ200人を対象に「世界を知ろう、国際理解教育」の授業として出前講座を実施しました。日本大学国際関係学部の学生で、ソウル出身のチョン・ヘインさん(写真右)が、母国韓国のことを、ローマ出身で三島市在住のバレリオ・ルチッティさん(同左)が、母国イタリアについて紹介してくれました。



2025年姉妹都市・友好都市から 来島された方々



マイケル・カルロスさん

6月



ロン・トシマさん

6月



USAカリフォルニア州パサディナ市から



7月 フレンドシップ2025の皆さん(後列の10人)



9月 ブライアン・タケダさん(前列中央左)

ニュージーランドニュープリマス市から



4月 スポッツウッドカレッジの皆さん



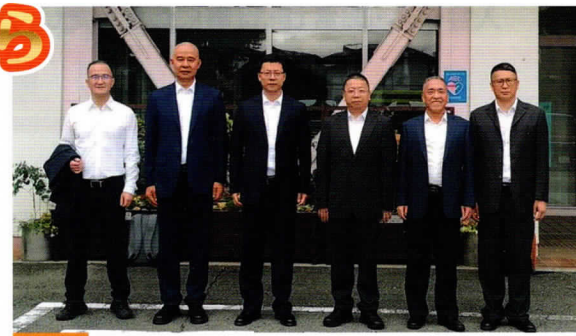
9月 ジョン・エドモンズさん(写真奥右)
教師交換派遣事業で来島



中国浙江省麗水市から



10月 麗水市武術太極拳交流訪問団の皆さん



9月 麗水市周和平副市長(右から3人目)と
訪問団の皆さん

James Molloy - MIRA Newsletter #46

JIMのみしまものがたり④6

梅御殿、その中へ

三島に住む人にとって、楽寿園は物心ついた頃から、私たちの生活やまちの風景の一部としてそこにあります。けれど、楽寿館の前を右に曲がり、小道を抜けた先にある美しい「梅御殿」まで足を運んだことのない人も、おそらくいるのではないのでしょうか。最近訪れてみて、梅御殿は、深い歴史を感じさせながらも、どこか親密で心落ち着く、稀有な場所だと改めて実感しました。

もし、園内を通り過ぎるだけで、ほんの数歩先に、100年以上もの間、静かに三島の移り変わりを見守ってきた建物があることに気づかなかったのなら——この文章が、その存在を知るきっかけになれば嬉しいです。

1890年に建てられた梅御殿は、日本の登録有形文化財に指定されており、19世紀末の洗練された日本建築の美を今に伝えています。控えめで上品、そして周囲の自然と深く調和した佇まい。風景を圧倒するのではなく、まるで耳を澄ませるかのよう、木々の下で静かにそこに立っています。

室内に座ると、森を通り抜けた陽の光が古いガラスを揺らめきながら通り、障子の内側に、遠い昔の日々の記憶を映し出します。

その静けさに身を委ね、儂い美しさに心を打たれていると、ふと気づきました。ここは、私が働くオフィスからほん

の数分、そしてまた、新幹線の駅がすぐ近くにある場所だということに。現代の営みがすぐそばで脈打ちながら、時間だけが止まったように感じられる場所は、そう多くありません。

梅御殿は、まさに三島の中心にありながら、気づかれずに佇む隠れた宝物です。まだ訪れたことがない方は、一般公開されるイベントの機会を探して、ぜひその空間の魔法を体験してみてください。

三島というまちを、さらに好きになる理由が、また一つ増えるはずです。



一緒に国際交流の輪を広げませんか

MIRA会員 大募集



年会費 3,000円(個人) | 1,500円(学生) | 5,000円(家族) | 5,000円(団体)

入会申込・問合せ・行事に参加したい・ホストファミリーをやりたいなど、なんでも…

三島市国際交流協会 TEL.055-976-1020

せかいをつなぐ
心をつなぐ
三島市国際交流協会

申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ